

対談

台東区男女平等推進行動計画「はばたきプラン21」策定にあたって、区民とともに尽力してこられた平沢茂さんと荒井ひとみさんに、台東区の今回の条例への期待を語っていただきました。

台東区男女平等推進行動計画「はばたきプラン21」策定にあたって、区民とともに尽力してこられた平沢茂さんと荒井ひとみさんに、台東区の今回の条例への期待を語っていただきました。

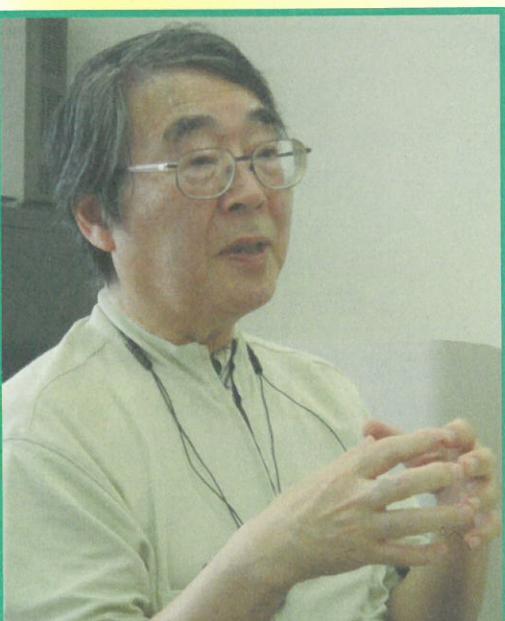
男女平等推進の条例がスタート

平沢 台東区は全体的に古い地域があつて、男が上にあって、女性がやや下にいるという、そういう雰囲気の町がありましたよね。ところが、台東区もどんどん新しい地域も出てきました。「はばたきプラン21」推進会議に長年関わり、行動計画の策定にも関わってきました。教育畠の人間として、この条例に幼い頃からの教育の重要性と、学校教育や社会教育のなかで、人権など基本的なものをきちんと教育していくべきと謳われているのが嬉しく思つたことです。また推進会議の中で気づいたことは、「女性の問題」はまさに「男性の問題」であるということです。

推進会議 荒井ひとみさん に聞く



副会長（平成24年度～）
NPO法人男女共同参画
こしがやともろう副代表理事



会長（平成14年度～）
文教大学
名誉教授

●今回制定された条例の経緯

女性議員6人の勉強会から始まり、全議員提案という形で議会に条例案を提出。昨年12月の議会で全会一致で可決・制定されました。

るといいと思っています。

特に4年前の東日本大震災の時の話でもしばしば出ましたけれど、災害の時、さらにその後の復興の時に女性が持つていて力を、男性が気づいていない。また、女性が災害時に抱える問題にも男性が気づいていない。ですから、この条例を通じて男性へ一層積極的に働きかけができる

ための理念というのが丁寧に書き込まれています。これが本当に区民の方々に浸透していくといいなと思います。そのためにもこの男女平等

場もおありになって台東区への関わりも長かったとのことです。私はNPOを立ち上げて、指定管理者として越谷市の男女共同参画支援センターの運営に携わっています。そ

の上で日々感じているのは、条例や行動計画をどういう形で区民の方々に浸透していくかということです。

今回の条例も基

本理念を立てて、男性も女性も性別に関わりなく、自立した個人として人権を尊重してい

ための理念というのが丁寧に書き込まれています。これが本当に区民の方々に浸透していくといいなと思います。そのためにもこの男女平等

の視点としても、いつも区民と一緒に改善されているけれど、見えないところに問題がいっぱいあるというのを私たちには気づかないと…。

平沢 台東区はプラザができる、プラザと区民が協力しながら行動計画策定の推進会議を進めてきましたよね。そこで議論が少しづつ浸透して、そこに議員の条例提案がうまく乗ったということで、無理なくできたということでお手伝いできました。

議員提案から生まれた条例

荒井 きことをやっていかなければ、この問題は根本的な解決にはならないですね。目に見えるものは少しずつ改善されているけれど、見えないところに問題がいっぱいあるというのを私は気づかないと…。

平沢 それは本当に頑張ってもらわなければいけないけれど、その時の視点としても、いつも区民と一緒になってというところをぜひ大事に…。いつも併走しながら、ときどきはやりあいながら進めるのが大事ですね。台東区のこの条例は、改めて読んで、よくできていると思いますし、期待しています。

荒井 私もそれは同感です。推進会議に区民の方がずっと関わって、計画を少しずつ進めてきたのがよかったですのではないかと思いますし、これからも続していくでしよう。

平沢 プラザもしっかり条例の中に位置づけられているのも大きいですね。また、この時期にできたメリットとしては、以前は、セクシーシュアル・マイノリティについて話題になつていなかつたけれど、今は視野に入つたということがあるのですね。

平沢 今回の条例は議員提案だったこと

もあって、パブリックコメントをとらなかつたということだそうです

が、台東区は推進会議で話し合い、策定した行動計画のパブリック・コメントをとつて、意見を反映してきました

など問題があるのですね。

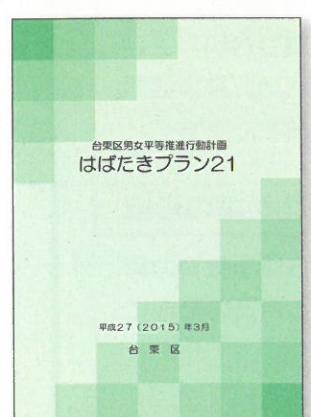
連携・協力して条例を活かす

平沢 条例は、まずは知つてもらう。その次は、ここに書かれている精神を日常生活の中で区民がどう活かすかということ。具体的には、家庭・学校・社会の中で、始終これを「でこ」にして問題提起していくことが重要だと思いますね。

今まであまり知らないできたので、平沢 条例は、まずは知つてもらう。その次は、ここに書かれている精神を日常生活の中で区民がどう活かすかということ。具体的には、家庭・学校・社会の中で、始終これを「でこ」にして問題提起していくことが重要だと思いますね。

荒井 大変な部分もありますが、区役所内でも、条例の中で、区・区民・事業者としての責務をそれぞれ定めていることを理解していただきたいと進んでいきません。そして区民の方や事業者に、プラザで発信し

台東区男女平等推進行動計画「はばたきプラン21」



詳しくは下記URLをご参照ください。



<https://www.city.taito.lg.jp/index/kurashi/jinken/danjobyodo/habataki.html>

●「はばたきプラン21」推進会議

学識経験者や公募区民等で構成され、台東区男女平等推進行動計画の進捗状況や関連施策などについて、ご意見をいただき会議です。

荒井 連携していく方向性を「プラザ」の事業で今まで以上に出していくというのも大切かもしれませんね。

平沢 事業者、区、区民の3者がそれぞれの責務で連携しながらやるべきことこそ、できると思います。

荒井 きことをやっていかなければ、この問題は根本的な解決にはならないですね。目に見えるものは少しずつ改善されているけれど、見えないところに問題がいっぱいあるというのを私は気づかないと…。

平沢 それは本当に頑張ってもらわなければいけないけれど、その時の視点としても、いつも区民と一緒になってというところをぜひ大事に…。いつも併走しながら、ときどきはやりあいながら進めるのが大事ですね。台東区のこの条例は、改めて読んで、よくできていると思いますし、期待しています。

荒井 きことをやっていかなければ、この問題は根本的な解決にはならないですね。目に見えるものは少しずつ改善されているけれど、見えないところに問題がいっぱいあるというのを私は気づかないと…。

平沢 それは本当に頑張ってもらわなければいけないけれど、その時の視点としても、いつも区民と一緒になってというところをぜひ大事に…。いつも併走しながら、ときどきはやりあいながら進めるのが大事ですね。台東区のこの条例は、改めて読んで、よくできていると思いますし、期待しています。